

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	森林環境教育 船橋県民の森 自然ウォッチング6月		
開催日時	2024年6月16日(日) 10時~12時		
開催場所	船橋市 船橋県民の森	一般参加者	12名

活動概要：船橋県民の森「自然ウォッチング」

テーマ：小さな湧水探検 サブテーマ：森の中の湧水には、どんな生き物が生活しているだろう

先夜来の雨も上がり少し蒸し暑いですが、昆虫たちにとっては絶好のコンディションだ。

まず、たぶん湧水池にいるであろうオニヤンマの生活史等について質問を交えて説明する。

事務所前の広場から観察開始。ダンゴムシ、カノコガ、ツバメシジミなどが出現。ベンチの下では、アリジゴクの巣を発見しスコップでアリジゴクをゲット。湧水までの道すがらオバボタルと思しき昆虫を参加者の子が発見。図鑑で照合してみるとどうもそのものようだ。

さて、湧水池に到着しヤゴの捕獲法を伝授。最初は、目が慣れないせいか、なかなか見つからなかったが、そのうち次々とヤゴを見つける。大きいものは終齢幼虫で5cmくらいあり、間もなく羽化するものであろうものもいた。最終的には、大中小合わせて87匹のヤゴをゲット。水分補給も忘れず、桜の木が植わった場所、運動広場へと足をのばし、そこではエゴノキに虫こぶのエゴノネコアシガたくさんぶらさがっている。早速中を開けてみて観察。バッタ類の赤ちゃんが、そこそこに飛び回っており子供たちは、捕まえるのに苦労しない。

ちょうど多くの昆虫の子供が育つ時期でいろんな種類の昆虫を観察できた。



事務所前にて



湧水池までの道すがら



ヤゴの終齢幼虫



捕まえたヤゴたち



ヤゴ捕獲風景

講師：山家 公夫

アシスタント講師：相田、植村、金井、高野、高橋(美)、羽根、森田